

(264頁24行～265頁6行)

メキシコ出兵の失敗で威信を
1861～67 - p. 270

失い、さらにプロイセン＝フランス戦争で敗れて、帝政はあっけなく崩壊
- p. 263

した。フランスはドイツにアルザス・ロレーヌを割譲するほか、莫大な賠償金を課せられ、その国際的地位は低下した。

帝政にかわって、1870年9月にブルジョワ共和派の臨時政府がうまれたが、屈辱的な講和に反対するパリ民衆は、71年3月にパリ＝コミューンを宣言した。これは世界で最初の労働者による自治政府ともいわれるが、2カ月後に政府軍に鎮圧された。その後、共和派は王党派と対立しながら勢力をかため、75年に共和国憲法を制定して第三共和政がうまれた。
- p. 304

「第三共和政」の成立について誤解するおそれのある表現である。

修 正 文

メキシコ出兵の失敗で威信を失い、さらにスペイン王位継承問題をきっかけとするプロイセン=フランス戦争では、1870年9月にスダンで敗れて捕虜となった。帝政にかわって、ただちにブルジョワ共和派の臨時政府がうまれて抗戦を続けたが、けっきょく、71年1月に降伏した。フランスはドイツにアルザス・ロレーヌを割譲するほか、莫大な賠償金を課せられ、その国際的地位は低下した。

この屈辱的な講和に反対するパリ民衆は、3月に蜂起してパリ=コミューンを宣言した。これは世界で最初の労働者による自治政府ともいわれるが、わずか2カ月後に政府軍に鎮圧された。その後、共和派と王党派の対立が続くが、75年に王党派の分裂のため共和国憲法がかりうじて制定されたのち、第三共和政はしだいに安定していった。